

# TK通信 4月号

APRIL / 15 / 2023 / VOL 010



## 令和5年度 御殿場西高等学校 始業式 新入生ガイダンス



さて、4月です。新年度もいよいよスタート。毎年迎えるこの季節ですが、毎年新鮮な気持ちです。さまざまな出会い、始まりの予感、変化の予感で、ワクワクするような感覚で日々過ごしております。今回は先日行われた始業式と新入生ガイダンスでお話した「枠を外す」について。

僕らは常に固定観念というものを疑っていく必要があります。2つ例を挙げたいと思います。まず一つ目は「オフィス」について。これまでは毎日出勤し、一人ひとりの机があり、紙の書類をベースに業務を行うのが当たり前でした。当然、自分が車や電車で通える範囲でしか職場は選べなかったわけです。しかし、現在はどうか。リモートワークが推奨され、出勤する日も週に数回、オフィスには自分の固定席はなくフリーアドレス、たまに顔を合わせて行う重要なミーティングのためのスペースが中心の空間、そしてペーパーレス…。コロナ禍でこれだけ変わったのです。PCとインターネットさえあれば、「だれでも」「どこでも」「いつでも」働くことはできてしまう。

次に、アフリカのタンザニアという国を思い浮かべてください。アフリカという単語を聞くと、サバンナの大自然の中で逞しく生きる野生動物たちの姿や、食糧難で貧困に苦しむ子供たちの姿を連想しますよね。確かにそれは間違いではなく、貧困問題は未だ大きな国際問題の一つです。しかし、タンザニアの最大の都市であるダルエスサラームは、僕らがイメージするアフリカとは全く異なります。高層ビルが立ち並び、道路はきれいに舗装され、海沿いはきれいなビーチで観光客で溢れています。海外の投資家たちが注目する都市であり、さらに現地の若者がシェアオフィスでIT系のスタートアップ企業を立ち上げています。御殿場、小山、裾野、沼津、三島といった地方都市と比べても、圧倒的に発展していますし、これからの将来性やポテンシャルで考えると比べ物にならないのではないのでしょうか。これがタンザニアの現在地でもあるのです。

このように、僕らには「枠」があります。これまでの人生の中で身につけてしまった「考え方の枠」や社会一般で当たり前とされている「常識の枠」に、自分が思っている以上にとらわれていることを、まずは認識しなくてはなりません。そして、その枠を外した時に起こるのが、技術革新や変革と言われるものです。今、世の中を動かしているリーダー、イノベーションを起こしている起業家、新しいトレンドを生み出すインフルエンサーたちに共通しているのは、周囲と同じであることや、空気を読んで輪を乱さないということに対して疑問を持ち、自分の「枠」を外していることです。常識を疑い、これまでの当たり前に対して「本当にそうなのか？」と疑問を持ち、さらにそれを多様な他者との対話を通し、新たな考えやプロジェクトを共に創り出していきます。枠を外せば、そこには共創が待っているということです。想いは出会いをうみだし、想いが人と人をつないでいきます。御殿場西高校の生徒も先生方も、枠を外していきましょう。そして、共創し、出会い、つながり、新しい御殿場西高校を作っていきましょう。

## 新任式を行いました。

4月は出会いの季節。今年もユニークな先生方が本校にやってきました！まずは二人の副教頭。フィンランドで唐揚げ屋をやっていたというインパクト大の田中航先生。オールラウンドに学校改革の中心的役割を担う中山諒一郎先生、28歳。二人の登場により、御殿場西高校は間違いなくおもしろい学校になっていきます。さらに北海道からやってきた国語科の松原先生、名古屋でうどん店でチーフ級に上り詰めた数学科の今泉先生、博士課程を修了した理科の「Dr.」御領先生、和歌山の山奥から富士山の麓に辿り着いた保健体育科の井上先生など、こちらも個性豊かで頼もしい先生ばかり。さらにさらに、国語科の杉村先生、英語科の齋田先生、ALTのLISA先生、事務では岩田さんも入ってくれました。スクールカウンセラーで藤元先生が入り、早速「ハッピー相談室プロジェクト」が始動し、新たな風が学校に吹いています！先生方よろしくお祈りします！



## School Information Board

4月に入り、本校の正門横のフェンス沿いにスクールインフォメーションボード（SIB）を設置しました。学校教育ビジョン、活動紹介、進路結果、部活動結果などいろんな活用シーンがあります。今回は入学式に合わせて、こんなボードを設置してみました。雨でしたが・・・(涙)ぜひ足を止めてご覧ください！



## 職員室？カフェ？どこ？

もはや御殿場西高校の職員室は職員室ではありません。先生、生徒、保護者、企業、OBOGなど、いろんな人が交流する場として生まれ変わりました。極め付けはこの壁一面のグリーンパネル。学び合いには区切りはありません。みんなが同じ目線で対話していく空間、それが新しい職員室です。



## 保護者の皆様へ

令和5年度がスタートしました。今年度も生徒たちにとって学びの多い、成長実感を感じられる一年間となるように、我々教職員一同、精一杯サポートをして参ります。

先日、ある保護者の方の言葉が胸に刺さりました。「高校受験の際に他校と悩んでいた時、御殿場西の卒業生（御友人の方）から、『絶対御殿場西高校にした方がいいよ！』と言われたんです。それで決めたんですよ。」つくづく思いますが、御殿場西高校は在校生保護者の皆様や、卒業生の皆様にいつもいろいろな場所で支えてもらっているのだと。これほど温かいつながりがあることほど幸せなことはありません。これからもいろんな方々に感謝し、生徒も教職員も、みんなでいい学校を作っていきたいと思えます。

一年間、ご迷惑やご心配をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお祈りいたします！

